

広報 ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課
電話(018876)代 2100番
印刷所 湖 東 印 刷 所
電話(018876) 2430番
一部 5円 郵便番号 018-17
毎月 1日・15日発行

下山内広ヶ野線の工事現場



おあげします

架橋に五億二千八百万円の投資

町では四十五年に総合開発計画をたてて町内の生産基盤や生活環境の整備をすすめてきているが、中でも道路網の整備には一つの特徴を持っている。それは橋の永久橋化に徹したことである。いくら立派な道路を築造しても、朽ち果てた橋をかかえていたのでは道路の機能も無に等しいし、第一それだけ投資が無駄になるというもので投資効果があらがないことは自明の理である。

これを基調にした橋づくりは十八橋を数えその投資額五億二千八百万円におよぶ。

道路網の整備今盛ん

町内主要道路に架かる橋が整備されたところで、その道路網の整備が今盛んに行われている。

ちなみに町の道路工事をみてみると、四十七年に着手した中央線は、町内を貫通する基幹道路として早くからその完成を待たれていたが、五十四年一月現在で移転を完了または、移転先を新築中のものを含めて五十六戸が決り、三戸を残すのみとなった。

完成までの総工費は十六億三千万円が見込まれている。

ただいま 町内大改造中

—町単事業3月まで35工区—

五城目駅前から、馬城橋を見通せる直線道路が形となつてあらわれる日も、そう遠くはない。

五十三年度の町単独工事は、舗装補修工事の雀館線ほか九路線、舗装新設工事の岩野裏通り線ほか八路線、道路改良工事の築地上線ほか八路線、側溝改良工事の岩野高崎線ほか三路線、下水溝改良工事旧富津内川など三十五区が三月の完成をめざしている。

加賀谷町長が、出初式の席上、町の大手術、大改造に取り組んでいると述べていたが、いみじくもい表わしている。パタパタとした舗装で、道路の舗装率を誇るよりも、拡幅を前提として高度な技術を駆使した舗装は、安物買いの銭失い論法に通じ、やがて町民の生活面にそれが答となつて返ってくるだろう。

出初式で

大石の両氏有功章に輝く

―春を思わせる好天のもと堂々の行進―

☆一月六日早春の装いを思わせる好天のもと☆
☆とて五十四年の消防出初式が行われた。☆
☆午前九時から加賀谷消防長等の観閲があつた☆
☆より、同二十分三十分から三十五名の団員と、三☆
☆台の消防自動車、二台の救急車が、町内☆
☆主要道路を堂々の行進をした。☆
☆広域体育館第一体育室で午前十時から式☆
☆典を行い、県知事有功章の大石喜代松氏☆
☆外一三一名十分団に、表彰状や感謝状が☆
☆それぞれ贈られた。☆

無火災の実現を期したい

加賀谷消防長が式辞の中で「達成し得ようとして、達成し得ないのが無火災である。しかし、今日の団員各位の勇姿を拝見して、私は今年の無火災を信じていく心境である。」
団員の仕事は火災だけでなく、時代とともにその内容は変化をみせており、住民の安寧秩序を壊さうとするものから守っていく任務を帯びている。

今年には三三五名の団員で四千世帯を守っていくわけであるが、一人当たり約十二軒を担当しながら、無火災を実現したい。この覚悟を新たにすることが今日であるかと思う。

いろいろな変化の波打つ年

町では今、新しい時代に対応できるようにするため、町内いたるところ外科の大手術の最中である。それは中央線や雀館線をはじめ、今年はいよいよあじ処理場、五城目警察署、同保健所、法務局五城目

団長に引続き勳五等瑞褒章を授与されたことは、全消防団員の指標であり、輝かしい業績を団員とともに称えたい。
渡辺前団長をはじめとし、後輩に道を譲るため勇退された先輩のみなさんに、深甚なる敬意を表したい。
以上四つの謝意を述べ、団員には、年々歳々生活様式が多岐多様にわたり複雑になっている。加えて、広範な行政区域をもっているところから、常時念頭においてもらわなければならないのは、「徹底した予防査察」と「厳正な生活規律」の二点であると訓辞した。
式典の席上、表彰された方や分団、それに感謝状を贈られた方の氏名は次のとおりである。

▼県知事表彰(敬称略)

・有功章	・30年勤続章	・25年勤続章	・2分団副分団長	・30年勤続章	・35年勤続章	・8分団分団長	・12分団分団長	・35年勤続章	・3分団副分団長	・4分団副分団長	・2分団副分団長	・11分団副分団長	・11分団副分団長
大石喜代松	渡部昭三郎	石井貞孝	中村正雄	館岡誠一	小玉勇悦	佐藤勝治	佐藤勝治	佐藤勝治	佐藤勝治	佐藤勝治	佐藤勝治	佐藤勝治	佐藤勝治

加賀谷消防長の観閲を受ける団員



・20年勤続章	・15年勤続章	・13分団副分団長	・12分団副分団長	・11分団副分団長	・10分団副分団長	・9分団副分団長	・8分団副分団長	・7分団副分団長	・6分団副分団長	・5分団副分団長	・4分団副分団長	・3分団副分団長	・2分団副分団長	・1分団副分団長
山民治	伊藤邦雄	伊藤文右門	松橋兼一	佐藤昌一	佐藤新一郎	伊藤重吉	小玉重吉	小玉勝蔵	伊藤重孝	伊藤礼蔵	椎名富夫	伊藤秀男	伊藤重孝	伊藤重孝

・火災予防の功勞	・消防施設協力者	・消防署士長	・消防署士	・消防署士	・消防署士	・消防署士	・消防署士	・消防署士	・消防署士	・消防署士	・消防署士	・消防署士	・消防署士	・消防署士
湯ノ又	金沢敬蔵	阿部孝順	金沢弘治	近野房太郎	金沢清美	石川直治	原田達三	渡辺達三	千田峯夫	中村部落会	中村部落会	中村部落会	中村部落会	中村部落会

・功勞章	・功勞章	・功勞章	・功勞章	・功勞章	・功勞章	・功勞章	・功勞章	・功勞章	・功勞章	・功勞章	・功勞章	・功勞章	・功勞章	・功勞章
栗山幸太郎	錦織一男	渡部昭三郎	川村茂次	小玉兼太郎	小玉兼太郎	小玉兼太郎	小玉兼太郎	小玉兼太郎	小玉兼太郎	小玉兼太郎	小玉兼太郎	小玉兼太郎	小玉兼太郎	小玉兼太郎

まだ若いからと油断は禁物

二月一日から七日まで、成人病予防週間

二月一日から七日まで、成人病予防週間です。ふだん健康に自信をお持ちのあなたも、この機会に一度健康診断を受けましょう。

自分の健康状態をいつもつかんでおく—これが病気の予防の第一です。

人の血管も老いる

四十一万九千三百六十五人—一年間(52年)に、これだけ多くの方が成人病で亡くなっています。総死亡者、六十九万七千四百人のうち、なんと六〇・七パーセントを占めています。

その内訳を見ますと、

(成人病) (死者・割合)

▽脳卒中 十七万二九人

(二四・六パーセント)

▽がん 十四万五千七二二人

(二二・一パーセント)

▽心臓病 十万三千五六四人

(一五・〇パーセント)

—亡くなった方のうち、四人に一人が脳卒中、五人に一人ががん、五・六人に一人が心臓病というようになります。

日本人の寿命は、世界でも一、二位を争うまでに延びましたが、一方で、成人病がその「魔の手」を広げています。

人は血管とともに老いる、といわれます。四十代、五十代といえど「平均寿命までは、まだ二、三十年」などという油断は禁物です。成人病の「元凶」といわれる高血圧は、四十代で十六パーセン

ト、五十代では三〇パーセントにものぼっているのですから。ちなみに、六十代は四二パーセ



T.N

ント、七十代になると五四パーセント—二人に一人は「高血者」なわけです。

年齢に応じた食事と適度な運動で、ふだんから健康の自己管理に気を配りましょう。

骨折事故の予防

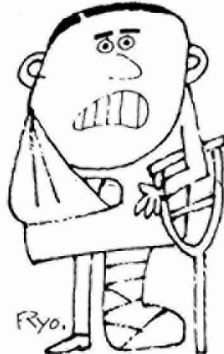
日光浴でビタミンDを

小、中学生

年間十二万九千人の骨折

最近、骨の弱い子どもが増えているといわれます。このほど発表された日本学校安全協会の調査によりますと、一年間に全国で、十二万九千人の小、中学生が骨折事故を起しています。

その理由はいろいろあると思われ、カルシウム不足も大きな原因の一つです。ところでカルシウムは、補給するだけでは十分ではありません。



FRY

大阪市立大学の高井俊夫名誉教授は「ビタミンDがあつてこそそのカルシウム」と力説します。

紫外線

カルシウム分の定着剤

「つまり、日光浴などで太陽の紫外線をあびますと、ビタミンDが

つくられます。このDは、リンやカルシウムの「定着剤」の役目を果たしているわけです。

Dが欠けると、せっかく食べたリンやカルシウムも活性化されることがなく、つまり、歯とか骨にカルシウムが定着せず、ムダに体外に流れ出てしまうのです」と同名名誉教授は、説明しています。

農家調査にご協力を!!

二月一日現在で秋田県農業基本調査が実施されます。

この調査は、県内の農家及び農家以外の農業事業体についてその実態を調査し、県や市町村行政の重要な基礎資料になるものです。

調査の方法は、各調査区(集落)ごとにお願した調査員が農家を巡回して行なう面接聞き取り調査です。

調査結果についての個人の秘密は厳重に守られますし、また税金の資料として使用できないことは条例でも定められており、農家のみなさんに不利益をもたらすことは絶対にありません。

おもな調査項目は次のとおりです

- 一、新設、離農世帯
- 二、経営耕地面積
- 三、世帯員
- 四、専、兼業農家
- 五、農産物総販売額
- 六、水稲作を請負に出した面積
- 七、家畜飼養頭数
- 八、出かせぎ者
- 九、費用機械

(2ページからつづき)	
12	嶋崎 喜明
13	館岡 弘育
・7年勤続章	
1分団 団員	藤田 正義
2	伊藤 多喜美
4	千田 基三郎
6	竹田 恒夫
7	石川 勝雄
9	小玉 久美雄
11	金子 久孝
消防署 消防士	
▼五城目町長表彰	
・5年勤続章	
1分団 団員	米田 兼光
2	山田 良悦
3	菊地 善寛
4	本間 金男
5	館岡 鉄雄
6	草野 純光
7	田中 康男
8	石井 重昭
9	金沢 正勝
10	小林 悦美
11	伊藤 比文
12	松橋 常夫
・優良分団	
▼消防団長表彰	
・優良分団	
3分団	佐藤 博直
4	渡辺 時治
5	伊藤 清治
6	工藤 久一郎
7	石川 力也
8	佐藤 一美
9	石川 時男
10	金野喜代太郎
11	石井 兼夫
12	佐藤 金之助
13	佐藤 正孝
14	松橋 喜悦
15	石井 武夫
16	小玉 悦郎
17	伊藤 準一郎
18	佐藤 一郎

新成人は

年金でスタート

満二十歳になると、国民年金に加入できます。

若い人は、とかく「老後なんてまだまだ先の話」と思いがちですが、入が早ければ早いほど有利なのです。今後老人の占める割合は増える一方、老後の生活設計は、若いうちから考えておきましょう。

そのためには、二十歳になったの

を機会に「国民年金」に加入しましょう。ただし、厚生年金など他の公的年金に加入している人は、加入する必要はありませんが、他制度の配偶者や昼間部の大学生のみなさんは、希望することによって加入することができます。

国民年金に加入して、老後の暮らしを、より豊かなものにしたいものです。保険料は、一月二千七百三十円(四月から三千三百円)です。

☆ ☆

好評であった貧血学級

— 来年度も続けてほしい —

町では、昨年の六月から杉沢地区の婦人を対象に、「貧血学級」を開いて、貧血が健康にもたらす影響と食生活を通じての改善策を学習してきた。

貧血の症状は、体がだるい、めまい、頭痛、息切れとなって現われ、血液の赤信号だとされている。特に婦人を対象としたものは、母子保健の上からも重要な問題であり、さらに家族の健康のきざしにぎっている立場にもあるので、始めと終りの血液検査と、保健所の栄養士による栄養指導を柱とする学習の展開であった。

十一月三十日がその最終学習であったが、そのときの学級生たちの反省の声を聞いてみると。

▼今まで貧血というと、良い食事をしないからだと思われがちであったが、みんな貧血をなくそうとする目的学習をしているうちに、ふだん畑にある野菜でもちよっとした工夫の仕方では栄養価のある食べ方ができることがわかってきた。

▼ごはんの準備をするとき、この点に気をつけるようになった。

▼貧血ということを確認し、ただ血が薄いというだけでなく、身体におよぼす影響なども勉強し、ぜひとも貧血をなおさなければと思うようになった。

この外まだ沢山の反省点をあげたが、総じて、この学級を開設してよかったという意見が多く、貧血は一二年で改善されるもので

はないので、今後も家族ぐるみ、地域ぐるみで改善をすすめていく必要があるところから、来年度も是非継続してほしいとする声も多かった。

担当してきた保健衛生課としては、一応調理実習、検査、講演なども勘案しながら、検討してみることにしている。

▲貧血学級に参加して▼

来年度も続けてほしい



杉沢 石川久美子

杉沢地区で昨年六月から「六回」にわたって貧血学級が開かれました。幸い、家族の理解と協力を

得て私も参加することができました。参加した中で一番年の若い私でしたが血液検査では一番悪い結果が出て、想像もしていなかっただけに大変ショックを受けました

自分の無知を反省

今まで、貧血症と人から話を聞いても、たいしたことないだろうと簡単に考えていましたが、保健婦さんの説明や、映画学習で、貧

血からくる体への障害がいかに大きいかを知って、自分の無知を深く反省せざるを得ませんでした。貧血学級に参加する以前は、食事を作るにしても、今ほど栄養について深く考えることはありませんでした。

一日も早い正常の血液に

子どもたちもこれから伸び盛りになりますが、今までのように、貧血について知識がなかったら、子どもの成長にとっても、決してよい結果はでなかったと思っています。

いい機会に、こんなに貴重な勉強と、みんなの口にあい栄養のある料理を教えていただき、本当に感謝しております。

関係者のみなさんには、遠いところまでたびたびのご足労、ご苦労さまでした。

これからも、学習したことは忠実に守り、一日も早く正常の血液になるよう努力して参りたいと思っています。

恐ろしい貧血を 体験する

杉沢地区の婦人を対象に、年六回の日程で貧血学級が開かれるというチラシを見たとき、この奥地までわざわざ足を運んできてくれるというのでした。これはありがたいと思い、私も喜んで参加することにしました。

六月十五日の開講式に始まる二回の血液検査と、保健所の栄養士さんによる栄養指導が行われました。みんなが少しずつ手を出して

の調理実習、それをまた家に帰ってからそれぞれ実習している様子でした。栄養士さんからは、その外日常生活の注意や、薄い血の映画など見せてもらいました。

家の中を暗くする主婦の病氣

しばらく前になりますけれども私が体具合の悪いとき、血液検査をしてももらった結果、ひどい貧血



杉沢 石川千草

だと言われ、それからはしばらくの病院通いでした。

一家の主婦が病氣になると、家の中が暗い毎日、病氣になって始めて健康のありがたさをつくづく感じさせられたものです。

油ものはきらいだったし、塩辛いもの、特につけものなど好んで食べていましたから、それが蓄積されて血液に異常をきたのだと思います。

それからというものは、食生活にいろいろ注意するようになりました。今では、検査の結果も良しとされていますが、食生活をおろそかにしてはいけないと思っています。

最後の血液検査に成果

この学級にも大分要注意の方々もおったようですけれども、それぞれに食生活に注意し、その改善に一生懸命がんばった結果が、最後の血液検査にあらわれたようでした。

十一月三十日の閉講式では、お茶を飲みながらの反省会でしたが

みなさんのご意見は、このあとこのような学習の場が欲しいというのが圧倒的でした。

貧血の重大さを 初めて知る

石川 スズエ

杉沢地区婦人を対象として、六月から六回にわたって貧血学級が開かれました。

私も一家の主婦として参加させていただきましたが、日頃からあまり丈夫な体ではない私ですが、貧血からくる体の障害がいかに大変なことであるかを、栄養士さんや保健婦さんのお話をきいて、初めてその重大さを知り、驚いた次第です。加えて自分の無学を恥ずかしいと思いました。

貧血学級に参加してからは、主婦として食事を作るにも栄養のあるものを考えるようになり、献立にも十分注意するようになりました。これも、料理講習でいろいろな学んだおかげだと思っています。本当にありがとうございました。これからも、今まで学んだことを基本にしながら、自分はもちろん家族の健康の守役を努めたいと考えております。

でき得れば、来年度もこの貧血学級を続けていただければと思っています。

食事診断の結果 (4回目の学習会に参加した21名分)



大変良い顔
2人



少し工夫のいる顔
4人



早くなんとかしたい顔
8人



困った顔
7人

(平均は早くなんとかしたい顔、まだまだ改善の余地が)

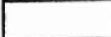
街を自然を美しく

Smokin' Clean

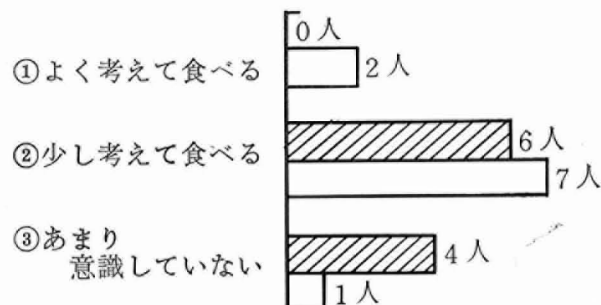


日本電気株式会社

((((アンケート結果))))

改善グループ(検査結果が1回よりよくな
った者8名 変りない者2名)アンケート1回目 
アンケート2回目 

(1)ふだんの食事で食事食品のとりあわせを考えていますか



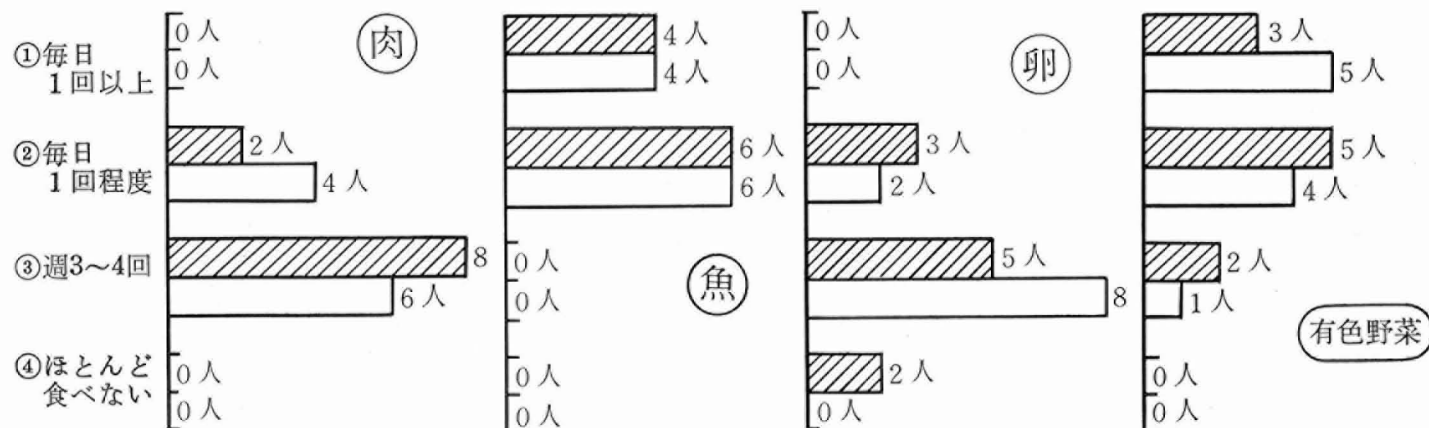
※1回目は食事についてそれほど意識していなかったのが
学習することによって考えて食べるようになり、意識し
ないのが少なくなったことは、1回目の検査で貧血と指
摘され改善しなければという自覚が生じたと思う。

(2)牛乳を飲んでいますか

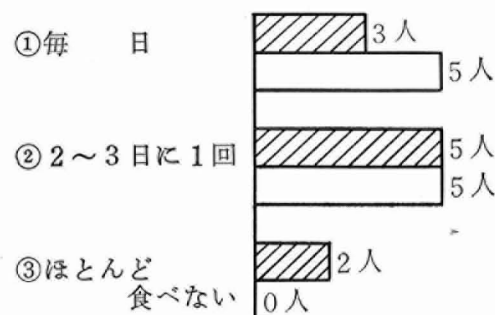


(・牛乳の摂取も改善されてきている)

(3)ふだんの食事で次の食品を好んで食べますか

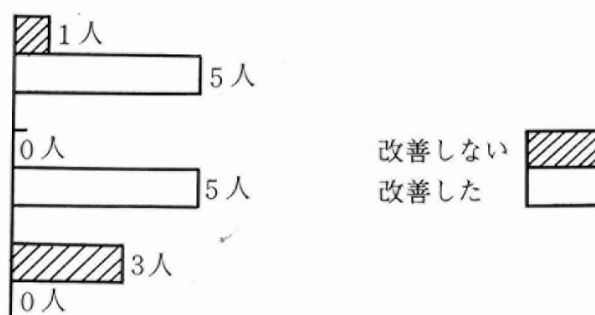


(4)レバー類を献立に入れてありますか



・レバー類を見ると1回目では
ほとんど食べなかった2人が
献立にレバーを取り入れるよ
うになった点、大変よかった。

※貧血が改善されなかった者と比較してみると



・ひん血が改善された者は毎日あるいは
2～3日に1回はレバーを食べてい
るが、改善されなかった者3人はレバー
をほとんど食べていなかった。



暮らしの中の自治用語
地方交付税

ここ数年、国の予算編成期にな
ると、地方交付税が地方財政対策
の最大の焦点になっていきます。
地方交付税は、地方税と並ぶ地
方団体の一般財源の柱です。とこ
ろでわが国の場合、地方税収入は
地域により著しく偏っています。
そこで、すべての地方団体が一定
の行政水準を確保して行くために
は、この地域間の財源の偏在を調
整するとともに、地方団体に所
要の財源を確保することが必要で
すが、地方交付税はこの機能を果
たしています。

地方交付税制度は、国と地方の
財源配分の一環として、国税三税
(所得税、法人税、酒税)の一定
の割合を地方に配分するものです
・現在の配分率は三二%ですが、
昭和五十年以降は地方財政の悪
化により、これだけでは足りず、
臨時的にその原資を国庫から借り
入れています。

本年度の地方交付税の総額は約
七兆円(歳入の二一%)で、それ
ぞれの団体の収入と財政需要の状
況に応じて配分されていますが、
一部の富裕団体には交付されま
せん。



受給に必要な手続き

「国民年金証書」が本人に送られます。

厚生年金に加入したら

手続きを

出かせぎ者は早目に

町内から毎年三百名の方が出かせぎにいらしてありますが、出かせぎ先の職場で「厚生年金」に加入したときは、早目に「国民年金」をやめる手続きをしなければなりません。

つながる年金

出かせぎ先での厚生年金と、いま加入している国民年金は通算されて、将来両方から年金が受けられます。厚生年金に加入したときや、出かせぎから帰ってきたときは必ず「役場住民課」へ手続きをしないと、あとでめんどろなことになるので必ず届け出ることです。

年金番号はひとつ

新しい職場に勤めるたびごとに新しく厚生年金の記号番号のついた「厚生年金保険被保険者証」をもらっている方はいませんか。

厚生年金も、国民年金も一生ひとつの番号でなければなりません。出稼ぎ者は「年金手帳」を必ず手元に持っていることが大切です。そして厚生年金に加入したり、またやめたりした場合は、その年月日をはっきり確認しておきましょう。

なお「年金手帳」がお手元にな場合は、役場住民課へ申し出ますとすぐ交付します。



- ⑧障害年金 医師が作成する診断書・国民年金手帳
- ⑨母子年金・準母子年金・遺児年金・寡婦年金・死亡一時金の場合 住民票の写し・国民年金手帳

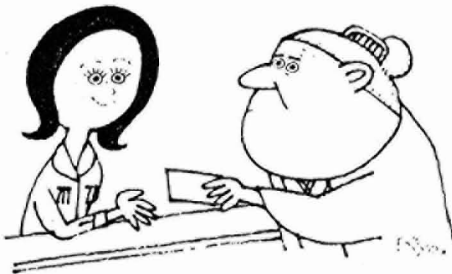
年金は通算して支給される



四月から 保険料が変わります

月額三千三百円に

四月から、国民年金の保険料が現在の月額二千七百三十円から三千三百円に改正されます。今回の改正は、昨年七月に提出



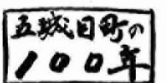
老齢年金の受給者は

現況届を出しましょう

国民年金の老齢年金や、通算老齢年金を受けたい方は、毎年「現況届」を社会保険庁に提出することになっています。

社会保険庁では、一月下旬ごろまでにこの「現況届」を提出しなければならぬ方々へ届出する用紙をお手元にお送りします。この用紙を送られた方は、これに必要な事項を記入して、役場の住民課窓口で証明を受けて、二月十五日までに社会保険庁へ提出してください。

なおこの提出をおこたりますと、ひきつづき年金が受けられなくなりまますのでご注意ください。



町村制の施行 ②

町村制施行に関する調査が行われたのは、明治二十年（一八八七）のことです。実施委員は郡長土居通子、郡書記川尻豊吉、本村乾次郎、平野貞幹、畑井鎮三郎である。平野は五城目小学校創立の時の教員（校長）であった人で、秋田県士族である。

「取調事務簿」（県庁保管）の中の「編成事由三部」に次のようなものがある。

南秋田郡に在ては五十目村、馬場目村、大久保村、一日市村、船越村、川尻村は従来の独立にして新制度の上にも法律上の業務を負担するの實力あり、且之に加ふる村落なきを以て在来の通り独立せしむ。

これによると、五十目村（五城目）馬場目村は規模が大きいので江戸時代からの村をそのまま新制度下の村とするというのである。

馬場目村と大川村はいろいろと問題があり、県案と住民の意見のくいちがいが大きかった。県案は上樋口村、久保村、高崎村、船越村の四カ村合併で馬河（まかわ）村とするというのと、大川村、谷地中村、下樋口村、西野村、石崎村の五カ村合併で大川村とするというのである。

これに対し「代表者答申之部」という書類には、各地域の住民代表の意見が記録として綴りこまれている。上樋口村代表の鳥井寅吉は、五カ村合併新大川村案に対して、大川村を外して上樋口村を加

えた別の五カ村で新村を作り、村役場は中ほどの西野におき、西野樋谷村としたいという具体的な案を出した。

高崎村代表館岡清四郎は、馬河村の村名を四つの村が合併する四ツ会村から「世智会村」という名にしたいという意見を出している。

館岡は高崎村の村長をつとめ、この年の十一月に五城目最初の県会議員に当選している。彼の意見は鳥井の県案反対に比べると、穏やかなものであった。鳥井の案は、大川にも馬河にも影響し、県が考えていた四等村二〇〇戸の規模を割ってしまうことになり、県としては入れる訳にはいかなかったのである。

結局、地域割は県案通りになり馬河が馬川に変わっただけであった。馬河も馬川も、村を流れる馬場目川からとった名である。大川村の名は、合併した村の中の一大きな村の村名を新村の名前にしたと記録されている。これも馬場目川を意味する名であろう。

新村の戸数と人口を、明治二十一年（一八八八）の新村発足の時の記録から書き抜いておく。

五十目村	三九五〇人	七八五戸
大川村	一八三二人	二七七戸
馬川村	一一五八人	一六四戸
馬場目村	二〇八二人	三〇一戸

第二回 子どもの雪まつり

親子そりりレーなど

五城目町、同青少年問題協議会、同教育委員会の共催で、昨年から行っている「子どもの雪まつり」は二十数年來の雪不足でその開催が、あやふまれているが、担当機関では雪が降るものと見越して今その準備をすすめている。

この「子どもの雪まつり」は、町内の子どもたちから、寒い季節を明るく元気に事故なく過してもらうために、家庭、学校、地域社会および関係機関が一体となつて、子どもたちから雪の中で一日楽しく遊んでいただくことにより、友情を深め、社会性を身につけさせる機会にすることをネライとして行なうものである。

昨年の例からみると、今はほとんど姿を消してしまった「馬そり」



昨年の雪まつりから

- ・開会行事
午前十時～
十時三十分
- ・雪あそび
午前十時三十分～
午後二時三十分
- ①箱ぞり
- ②雪ダルマ作り
- ③スキー
- (竹スキー、ミニスキー)
- ④ボブスレー
- (そり)
- ⑤馬そり乗り
- (馬二頭、そり四台)
- ⑥ゲーム
- (親子そりりレーなど)

のり」に人気が集まった。その外、箱ぞりや手製の竹スキーも子どもたちの目にとつては新鮮であり、この遊びに汗すること、ちゅうちょはなかった。雪国の前近代的な遊びに、子どもたちのフアンタジーは限りないものであったことだろう。

- ・昼食 正午から午後一時
甘酒、とん汁を提供
- ・雪あそび
- ①たこあげ ②雪合戦
- ③綱引
- ・閉会 午後二時三十分
- 五、その他
- ①午前九時四十五分まで集合のこと。
- ②昼食は各自準備のこと。
- ③小さい子どもさんは保護者といっしょにご参加のこと。
- ④外でも寒くない服装をすること。
- ⑤たこ、スキー、ミニスキー、そりなどは各自で用意してください。また、甘酒用お茶わんやとん汁用のおわんも各自持参のこと。

一、開催日時
二月十八日午前十時から
午後二時三十分

二、会場 雀館運動公園運動広場

三、参加対象 町内の子どもと父兄

四、日程

昭和53年度 寄生虫卵検査成績集計表

対象人員 4,892名
検査人員 1,747名 (35.71%)
有卵者 321名 (18.37%)

町内名	検査人員	有卵者数	虫卵の種類			
			蛔虫	鉤虫	ベン虫	横川吸虫
広ヶ野	58	8			1	7
希望ヶ丘	78	12				12
上田町	31	11			1	10
田町	161	37	3		3	33
今町	45	5				5
御蔵町	44	6				6
小池町	24	1				1
川原町	44	12				12
新町	26	1				1
一番町	86	13			1	12
古川町	158	37			2	36
紀久栄町	49	8				8
新畑町	164	28				28
矢場崎	59	9				9
長町	39	7				7
仲町	33	3				3
米沢町	56	12				12
畑町	170	30				30
築地町	92	20		1	1	19
昭辰町	104	17			1	16
雀館町	78	17			2	15
館町	78	17				17
中川原	57	7				7
樋口	13	3				3
計	1,747	321	3	1	12	309

寄生虫による主な症状、日常生活における予防、駆虫に対する注意事項についての指導も行われます

一、日時 二月一日

午前十時～十一時半
午後一時～二時半

二、場所 広域体育館予備室

三、料金 四〇〇円

※寄生虫卵検査表を持参のこと。

午前中においては、朝食は少量にして、お酒類、油こいものはとらない。

※午後においては、朝食をできるだけとらないこと。

名石と貴石の個展

百余点を展示

一月四日から六日まで田町の五

城目町ボランティア会館において、

名石と貴石の個展が開かれた。

この個展は、田町の小松松之助

さん(六九)が六年もかけて収集

した名石や貴石などを、初めて公

表したものである。

小松さんはこれまで石を収集する

ために、馬場目川流域や男鹿な

ど、県内はもとろん、青森、埼玉、北海道など全国に足を運んでいる。また、ガム島のサンゴ四つも展示されていた。

出品数は百点を越え小松さんも

正確な数は分らないそうである。

内容は亀甲石、メノウ、水晶など

の名石や貴石だけでなく、アンモ

ナイト(貝)の化石、木の化石、

サンゴと多種類におよんでいる。

大きさは豆粒位のものから、幅が

七十センチもあるものまで展示さ

れていた。

会場には、連日二十名以上の人

が訪れ、なかには国道を車で通り

かかった町外の人もあった。

ころがないので、ダンボール箱に詰めて、押入れの中に入れて置く

と苦笑していた。しかし、苦勞し

て集めたものなので、手放す気持

ちはなれないのである。ただ、

石の集取に関する知識や石の磨き

方などの技術については、いつで

も教えるということだった。

交通事故処理の相談は

日本損害保険協会へどうぞ

日本損害保険協会では、無料で

交通事故による保険金の請求につ

いての相談に応じています。

相談には、専門の相談員と弁護士

があたっていますので、交通事故

処理でお困りの方は、どうぞ気

軽にご利用ください。

相談の受付時間

平日：午前九時半～午後四時半

土曜日：午前九時半～正午

・秋田県の相談センターは

秋田市中通三の二の四四、河北

ビル五階、自動車保険料率算定会

秋田調査事務所内(TEL〇一八

八一三二一三二七九)

です。

7

2月 ごみ収集日

町内名	1回	2回	3回	4回	5回	6回
広ヶ野	2	8	15	20	25	
希望ヶ丘	2	8	15	20	25	
田町	2	8	15	20	25	
上田町	2	8	15	20	25	
今蔵町	2	8	15	20	25	
御池町	2	8	15	20	25	
小川原町	2	8	15	20	25	
新町	3	9	16	21	27	
一番町	3	9	16	21	27	
古川町	3	9	16	21	27	
紀久栄町	3	9	16	21	27	
中川原町	3	9	16	21	27	
館城町	3	9	16	21	27	
築地町	6	10	17	22	28	
畑町	6	10	17	22	28	
新畑町	6	10	17	22	28	
矢崎	6	10	17	22	28	
仲町	1	7	12	19	23	3月1
長町	1	7	12	19	23	1
米沢町	1	7	12	19	23	1
雀館町	1	7	12	19	23	1
昭辰町	1	7	12	19	23	1
大川一区	1	7	12	19	23	1
二区	1	7	12	19	23	1
三区	1	7	12	19	23	1
四区	1	7	12	19	23	1
馬場目	5	14	24			
富津川	5	14	24			
大川(本村以外)	9	19	28			
面湯川	9	19	28			
馬場	9	19	28			

●直接搬入の場合は
前もって焼却場へ
ご連絡ください。
(電話3958)

<直接搬入料>

2トン未満積車	1回につき	6000円
2〜4トン未満	1回につき	9000円
4トン以上	1回につき	13500円

※収集日が多少変更になることもあるので広報のごみ
収集日程表を必ず見るようにしてください。



忘れもの

町民センターへ、次の忘れもの
がありますので、お心あたりの方
は、おいでください。

皮製札入

中にお金なし、服ボタン一個、
森長領収書一通

老人ホームに寄せられた善意
・五十三年
十二月
十四日 五千元 五城目日赤奉仕団
十七日 果物等 馬場目若妻会
二十六日 生菓子 古川町 佐藤栄治
三十日 そば 大川 伊藤金千加
三十一日 そば 上樋口 猿田源三郎
・五十四年一月一日
そば 仲町 伊藤 節子
慰問 真坂 のんき会
果物 大川 北島 倉治
餅 富津内 高千子供会

暖冬でも油断禁物

水道管に温かい思いやりを

気温が摂氏マイナス四度以下に
なると、水道の水が凍ったり、水
道管が破裂したりします。

とくに水道管が次のような場所
にあるときは、防寒に十分注意し
ましょう。

▼屋外にあって、むき出しになっ
ている場合。

▼北向きの寒いところにある場合

▼風当りの強いところにある場合

▼日照時間の短いところにある場
合。



おしらせ

このようなところにある水道管
は、早目に「防寒策」を講じてく
ださい。

簡単にできる水道管の「凍結破
裂防止法」は次のとおりです。

手近にある布やなわ、こもなど
を露出している水道管に巻きつけ
て保温します。さらに、この上か
らビニールやテープなどを巻きま
す。これは、布などの「防寒材」
がぬれますと、それらが凍って、
かえって水道管を破裂させる結果
となるからです。

破裂してしまつては、たくさん
の水がムダになる上、修理代もば
かになりません。

水道管には温かい思いやりを。



はしかの予防接種

定期になりました

希望者は保健衛生課へ

お申込みください

予防接種法が改正になり麻しん
(はしか)が一定年齢の子どもを
対象に定期接種になりました。

このたび町医師会のご協力を得
て二月上旬、個人接種を行います

対象希望者には役場から日時、
場所等指定した通知を差し上げま
す。

●料金 個人負担 一、二〇〇円
(町で二、五四七円の補助)

●対象者

昭和五十一年一月一日〜

昭和五十二年六月三十日
までに生まれた方。

※麻しん(はしか)は幼児期に一
度かかる伝染病といふことで、
比較的軽視されていふますが実際
には肺炎や脳炎など併発しやす
く、時には死亡する例もあり子

住宅金融公庫

財形住宅融資のご案内

どもたちにとっては重大な病気
です。一度感染すると終生免疫
ができます。

住宅金融公庫では、財形貯蓄を
している勤労者(三年以上行い、
その残高が五十万円以上ある方)
を対象に財形住宅融資の申込受付
を昭和五十四年二月二十八日まで
行っています。

この融資は、公庫の一般個人住
宅融資などとあわせて利用するこ
とができ、この場合財形住宅融資
の申込みは住宅が竣工するまでで
す。(ただし、住宅の竣工が昭和
五十四年三月から六月ごろになる
予定の場合は、昭和五十四年二月
二十八日まで申し込んでくださ
い)。



日本赤十字社の献血功労に
渡辺さん夫妻ほか15人

献血運動の推進に寄与されたこ
とが認められこのほど渡辺さん夫
妻をはじめ次の方々に金、銀のパ
ッチが交付された。

・金パッチ 渡辺 秀勝(田町)

・渡辺 鉄男(今町)

・渡辺 カズ子(畑町)

・菅原 昭男(館町)

・銀パッチ 石井 勉(中川原)

・見玉 昇(矢崎町)

・島山 啓作(富田)

・石井 博嗣(町村)

・佐々木正男(新畑町)

・小玉 哲司(館町)

・松橋千代美(希望丘)

・渡辺 博直(新畑町)

・見玉 了(矢崎町)

・館岡 金敏(上高崎)

・渡辺 絹子(今町)

・館岡 幸雄(昭辰町)

・関 昭子(畑町)